



午前午後と2回開かれたコンサートはどちらも超満員！

小さな子どもが大はしゃぎ 親子でたのしむ吹奏楽ミニコンサート

5月13日(日)、文化会館フォルテで石川フィルハーモニックウィンズによる0歳からの親子音楽会が開催されました。この音楽会は、子どもたちが楽器に親しみ、演奏を身近に感じてもらうことを目的とし、年齢制限が無いのが特徴です。演目はアンパンマンマーチを始めとするアニメ曲や、なじみ深い童謡などで、子どもたちは音に乗って全身で演奏を楽しみました。また、母の日のこの日は、子どもたちにカーネーションが配られ、お母さんへの嬉しいプレゼントとなりました。

届け！感謝の気持ち！ エコクラフト 母の日プレゼント作り

5月12日(土)に中央児童館にて、年長さんから小学6年生までの15人が参加してエコクラフト教室が開催されました。なんと材料は、飲み終わった牛乳パックと古布です。切って、貼って、好きなビーズをつけると素敵なカトラリーケース（小物入れ）に大変身！最後に感謝の気持ちを込めたメッセージカードを添えて完成です。6年生の男の子に感想を聞くと「あっという間に時間が過ぎた！お母さんには何を作るか言っていない！」と、サプライズをわくわくしている様子でした。



お母さん喜んでくれるかな？



野々市中学校では1～3年生が交代であいさつを行いました。

あいさつで深める人と人のつながり 愛と和 ののいち5万人あいさつ運動

“ののいちっ子を育てる”市民会議と市保護司会が主催するひと声運動が39年目の今年、名称を新たに「愛と和 ののいち5万人あいさつ運動」としてスタートしました。新しい名称にはあいさつの輪を市民みんなで広げよう！という思いが込められています。5月15日(火)に出発式があり、市内街頭や保育園、学校玄関などで市民会議構成団体や保護者の皆さんが街頭呼びかけを実施しました。野々市中学校では1年1組の生徒も玄関に並び、元気いっぱい声かけを行っていました。



衝突の瞬間。思わず目を背ける生徒もいました。

安全運転、できていますか？ 市内小中学校自転車教室

5月10日(木)を皮切りに、市内の小中学校で自転車教室を開催しています。教室は白山警察署や市自転車組合の協力の下、安全な自転車の運転について学ぶため、毎年小学3年生と中学1年生を対象に行われています。

中学校の教室ではDVDや冊子で交通安全について学んだ後、全20問のテストが行われました。教室の最後には車と自転車の衝突実験が行われ、生徒は改めて交通事故の危険性を実感していました。

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

いくつになっても 新しいスタートを！

野々市寿大学校・大学院開校式

4月24日(火)に60歳以上限定の学び舎、寿大学校・大学院の開校式がありました。学習や仲間づくりへの意欲の高まりから、年々受講希望者が増加しており今年は大学校で50人、大学院で218人が寿大学の門をくぐりました。式典では、田多野野学校長が「閉じこもらずに、今日も明日も外出し、知り合いを多く得て、学習を進めたり地域活動を行うことが生活の充実につながる。そのきっかけを公民館で得てください」とエールを送りました。また、新入生代表の吉岡潤さんが「多岐にわたる学習活動に積極的に参加し、自己啓発と受講生相互のふれあいを大切にして、活気ある住みよいまちづくりに貢献していきます」と決意を述べました。



- ①開校式で決意を表明する吉岡さん
- ②祝辞を述べる栗市長
- ③今年も多数の新入生を迎えました
- ④生き生きとした表情の受講生



自分で作った弓矢を発射！うまく飛ばせるかな？

能美の大自然を満喫！ 春の里山あるきと木の弓矢あそび

4月28日(土)、能美市長滝町の瀧浪フィールドで春の里山あるきと木の弓矢あそびが行われました。カメラア・パルの会が主催し、能美の里山ファン倶楽部と県立大学ビオトープ研究会の協力を得て開かれたイベントには市内の親子24人が参加。多くの植物が自生するフィールド散策や弓矢作りを体験し、昼食にはイノシシ汁を堪能しました。フィールド散策ではカモシカや珍しいギフチョウと遭遇する場面もあり、参加した親子は市内では味わえない貴重な体験をしました。

ノーベル賞受賞者の人生から学ぶ 大村智氏講演会

4月28日(土)、文化会館フォルテで化学者の大村智氏による講演会が実施されました。2015年のノーベル生理学・医学賞を受賞した大村氏の講演会は白山、野々市、白山石川の3ロータリークラブが主催。

微生物の生産する有機化合物について長年研究してきた大村氏は「私の歩んできた道」と題し、抗生物質イベルメクチンを開発した経緯などを紹介しました。大村氏は「独自の方法で工夫することが大切」と語り、約800人の参加者は熱心に聞き入っていました。



ノーベル賞受賞者の貴重な話を聞くことができました。